



## 第2節 七つの政策分野の基本方針と基本政策

### 5 農林水産分野

#### ▶ 目標

なりわいとしての農林水産業や農山漁村に活力があり、そこから生み出される多様な恵みを受けて豊かに暮らせるまちを目指します。



#### ▶ 基本方針

産業としての農林水産業や農山漁村を活性化し、生産活動に対する喜びを生み、市民がそこから生み出される多様な恵みを受けることができるよう、担い手の育成や経営安定化に向けた意欲ある取組に対して積極的に支援を行うとともに、地域の支え合いにより中山間地域の集落や農林業の維持・活性化を推進します。

#### ▶ 基本政策

海・山・大地の豊かな自然環境を有する本市にとって、農林水産業は、地域に多様な豊かさをもたらし、発展を支えてきた大切な産業であると同時に、このまちならではの暮らしや風土、歴史・文化の形成に大きな役割を果たしてきました。

このような基本認識の下、先人から引き継いできた農林水産業を産業として振興していくことはもとより、本市が誇れるなりわいとして、健全な形で次世代に受け継いでいくことが私たちの使命と考えます。

また、農林水産業は、農山漁村のコミュニティ形成にも密接に関わっていることから、地域コミュニティや集落の維持・活性化に向けた取組との連携により政策・施策を展開していく必要があります。

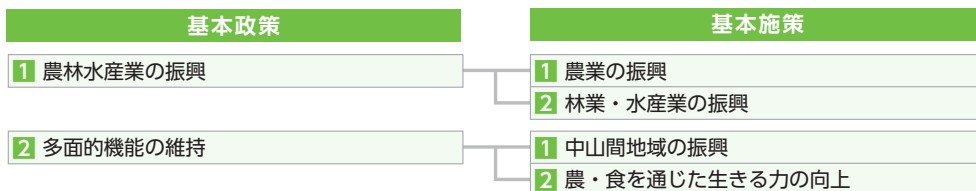
さらに、農林水産業が持つ多面的機能は、都市部も含む市民全体にかけがえない恩恵をもたらすものであり、その機能を維持していくとともに、恵みをいかした産業の振興や暮らしの豊かさの向上に取り組む視点も必要です。

そのため、農林水産業全般について、経営安定化による担い手の確保を進めるとともに、農業では、持続的な営農体制の構築や生産基盤の強化による生産性の向上、林業・水産業では、そこから生み出される資源の新たな利用価値にも着目した資源の保全を推進するなど、時代の変化に対応した農林水産業の振興を推進します。

特に中山間地域の農業・林業については、地域の人口減少や高齢化、世帯構成の変化の状況を踏まえるとその維持・活性化が喫緊の課題であり、市民の暮らしを守る観点や里地里山の保全といった観点からも、地域の支え合いを通じてその多面的機能の維持を図ります。

また、食育活動の推進など、農・食を通じた市民の生きる力の向上に向け、取組を推進します。

#### ▶ 政策・施策の体系



#### 市民・事業者の皆さんへ

- 農林水産業への支援策や企業等との連携を有効に活用し、農林水産業の可能性を高めましょう。
- 生産者・消費者・事業者・行政が一体となり地産地消の取組を推進しましょう。
- 中山間地域の公益的機能を市民共有の財産として理解しあい、みんなで支えましょう。

## 第3章 政策分野別基本方針と基本政策

### 第2節 七つの政策分野の基本方針と基本政策

#### 6 教育・文化分野

##### ▶ 目標

学び高め合う環境が整い、まちの歴史・文化が誇らしく感じられ、心豊かに暮らせるまちを目指します。



##### ▶ 基本方針

市民が学び、高め合い、まちの歴史・文化を誇らしく感じられる環境を整えるため、子どもたちの生きる力を培う教育環境の質の向上や、地域ぐるみで支える体制の構築、学びを通じた人づくり・地域づくり、まちの歴史・文化の継承・活用や、市民の文化・芸術・スポーツ活動の振興に取り組みます。

##### ▶ 基本政策

将来ある子どもたちの健やかな成長は、市民誰もが願うことであり、その子どもたちが郷土に対する誇りや愛着をもてるようにしていくことは、まちの持続的発展にとって大切なことです。

また、地域固有の歴史・文化の継承・活用や、一人ひとりの個性や関心に応じた学びや文化・芸術・スポーツ活動は、まちの活力を生み出す源泉となるだけでなく、それらに関わる人の暮らしを一層豊かなものとしします。

このような認識の下、教育面では、子どもたちの学ぶ意欲を高め、確かな学力を身に付け、感性を磨き身体を鍛えるため、学校教育の質の向上を図るとともに、地域の子どもは地域で育てるとの考え方の下、地域ぐるみで子どもたちの健全でたくましい心身を育み、市民一人ひとりが生涯にわたって学び、高めていくことができる環境を整えていくことが必要です。

文化面では、地域固有の歴史・文化が継承・活用され、それらが市内外の人々から当市の魅力として映り、市民にとって誇らしい存在となっていくとともに、市民の生涯学習や文化・芸術・スポーツ活動の活性化や、他の地域との交流促進を通じて新たな活動につなげていくことが必要です。

そのため、子どもたちにとってより良い学校教育環境の整備や、学校運営協議会<sup>115</sup>の効果的な活用、地域ぐるみの教育の推進等により、学校教育の質の向上に取り組みます。

また、時代の変化に対応し、市民の学びに対するニーズを踏まえ、誰もが楽しく生きがいを感じながら充実した時間を過ごせるような学びの場の提供や、学びを通じた人づくり、地域づくりを推進するとともに、市民によるスポーツ活動の推進や競技力の向上、多様な文化・芸術活動の活性化を通じた社会教育・文化活動を推進します。

##### ▶ 政策・施策の体系



#### 市民・事業者の皆さんへ

- 学校・家庭・地域で連携し、子どもたちの健やかな育ちを支えましょう。
- 生涯を通じた学びや、文化・芸術・スポーツ活動に親しみ、ともに地域の活力を高めましょう。
- まちの歴史・文化への理解を深め、その継承・活用にも取り組ましましょう。



## 第2節 七つの政策分野の基本方針と基本政策

### 7 都市基盤分野

#### ▶ 目標

暮らしと産業を支える機能的・安定的な都市基盤が整い、魅力的な空間の中で快適に暮らせるまちを目指します。



#### ▶ 基本方針

社会経済状況の変化に対応し、市民の暮らしや産業を支える機能的・安定的な都市基盤を整え、魅力的な空間を形成していくため、計画的なインフラ<sup>15</sup>の整備・維持を推進するとともに、総合的な公共交通ネットワークの構築、地域特性をいかすための土地利用や空間形成を推進します。

#### ▶ 基本政策

暮らしや産業に必要な機能の確保や豊かな国土の保全のための規制や誘導、様々な都市基盤の整備は、限りある土地を有効活用し、市民の暮らしに必要な共有財産を形成していくための大切な取組です。

このような認識の下、今後のまちづくりでは、道路や公園、上下水道、都市ガスなど、市民生活を送る上で安全かつ快適な都市基盤が、将来にわたって効果的かつ効率的に整備・維持されることが重要であり、水道・都市ガスのようなライフラインは安定的な供給に加え、適正で安定した価格で供給されていることも重要です。

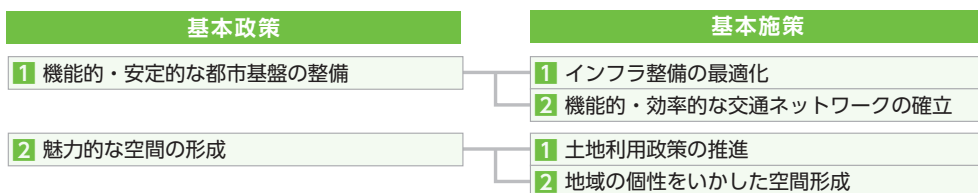
公園を始めとする各種公共施設は、市民の安らぎや交流の場として効果的な整備・運用が必要であり、これまで整備してきた公共インフラの老朽化に対応して計画的な維持・補修が必要です。

また、地域の個性となる景観は、市民の関わりの下、良好に保全・形成していくことが必要です。

そのため、財政状況や時代の変化に対応し、暮らしと産業を支え、まちの持続的な発展につながる魅力的な都市空間づくりに向けた計画的なインフラの整備や維持に取り組むとともに、市民や交通事業者とともに生活の足として、また広域交通の二次交通<sup>16</sup>としての総合的な公共交通ネットワークの形成と、利用促進に取り組み、機能的・安定的な都市基盤の整備を推進します。

また、市民、事業者への意識啓発やルール of 適正な運用などを通じて計画的な土地利用を進めるとともに、市民参加の下、地域の個性をいかした景観づくりを推進することにより、魅力的な空間形成を進めます。

#### ▶ 政策・施策の体系

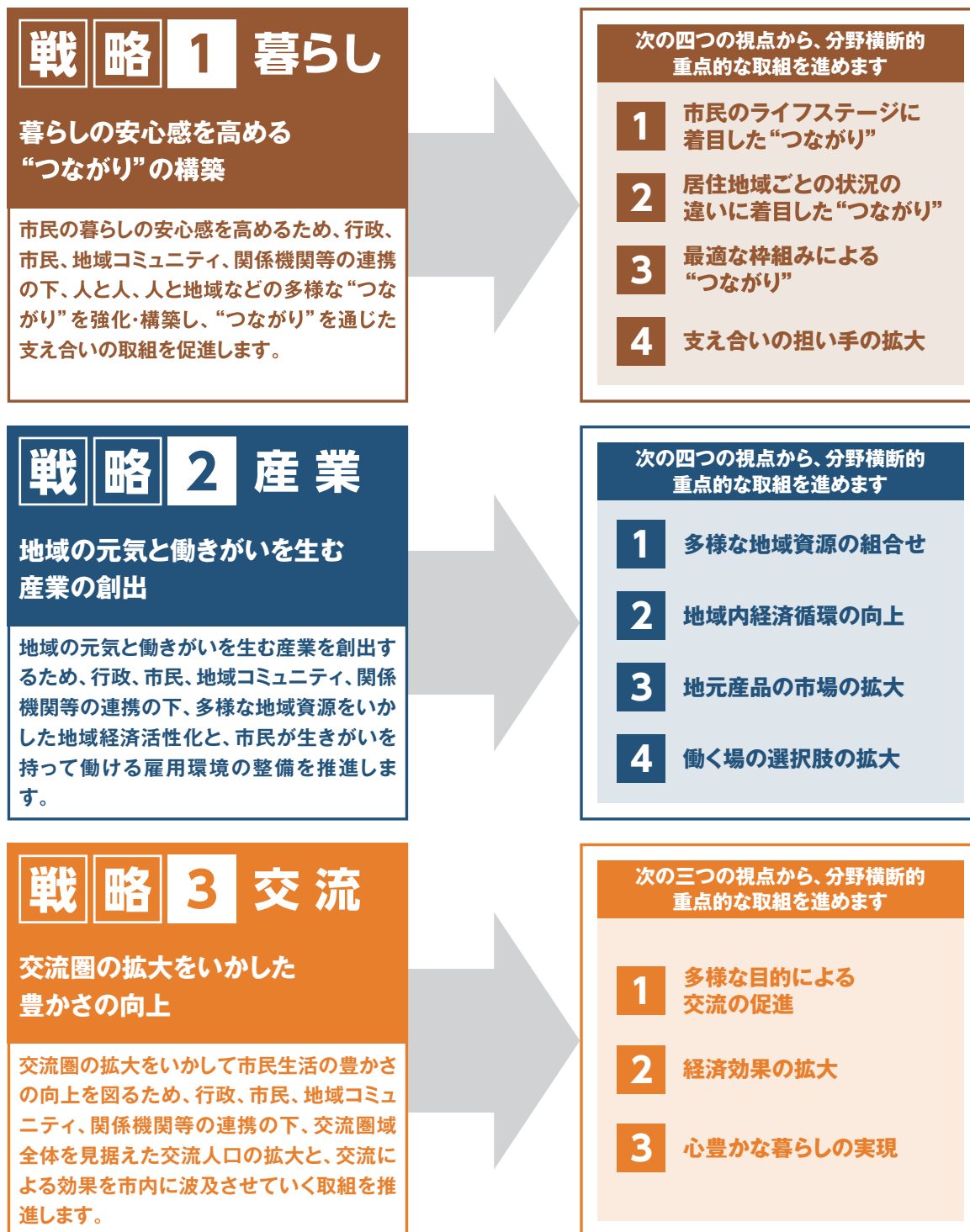


#### 市民・事業者の皆さんへ

- 市民・事業者・行政が一体となって、魅力的な都市空間づくりを進めましょう。
- 公共交通の必要性を認識し、積極的に利用するとともに、市民・事業者・行政が一体となって公共交通の利用促進活動に取り組みましょう。

## 第4章 重点戦略

○重点戦略は、将来都市像の実現に向けて、各政策分野での取組に加えて、分野横断的・重点的に取組を進めていくための方針です。当市の課題や市民の声アンケートの結果を踏まえ、当市のまちの力をいかしたまちづくりを進めていく観点から、「暮らし」「産業」「交流」をキーワードとした3つの戦略を設定しました。



序論

基本構想

基本計画

資料編



## 取組の展開例

### 戦略 1 暮らし

【例え】子どもたちがすこやかに育ち、安心して子育てをできる環境を整えるため、市の各関係部署や学校・幼稚園・保育園、地域コミュニティ、市民活動団体、専門家、関係機関などの連携を促進し、地域が一丸となって子どもたちを育む体制を強化。



【例え】お年寄りのすこやかな暮らしを支え、介護にかかわる不安を解消していくため、市の各関係部署、介護・福祉事業者、医療関係者、地域コミュニティ、市民活動団体、専門家、関係機関などの連携を促進し、サービス提供や支え合いの仕組みを強化。



【例え】身近な地域の課題を、それぞれの実情に応じて地域住民自身の手で解決していくため、人材育成や、地域コミュニティ活動への支援、ノウハウの共有化などを強化。



【例え】若者の発想や活力、大学の研究者の専門的知識を地域課題の解決やまちづくりにいかしていくため、市の各関係部署、地元大学、地域コミュニティ、市民活動団体、関係機関や事業者などの連携強化やモデル的な取組を推進。



### 戦略 2 産業

【例え】上越ならではの農業の恵みをいかし、市場ニーズを捉えた特産品づくりを一層積極的に進めていくため、農・工・商連携、産・学・官連携を強化し、意欲的な取組を重点的に支援。



【例え】より多くの地域の事業者がインターネット販売を通じた販路拡大に取り組みやすくとともに、まちの魅力と合わせた情報発信を効果的に展開するため、上越の特産品や、農産品の販売情報、観光情報なども合わせて発信できるインターネット上のアンテナショップを開設。



【例え】恵まれた地勢や広域交通ネットワークなどをいかしながら、広域交通インフラの一層の機能強化や整備促進に向けた関係機関との連携強化、雪冷熱やメタンハイドレートなどの新たなエネルギー資源の産業面での活用に向けた取組、起業・創業の促進や企業・事業者への総合的な支援、企業誘致活動を展開。



【例え】医療・介護・福祉系の事業所へのUIターン促進のほか、インターンシップ、若者の市内事業所への定着に向けた支援などを総合的に展開。



### 戦略 3 交流

【例え】豊かな自然や農山村をいかした体験交流を一層促進して地域活性化を図るため、これまでの取組をいかして、より多くの地域で、より様々な体験のコンテンツを提供できる体制を強化。



【例え】新水族博物館の整備効果を最大限に発揮させ、地域活性化につなげるため、地域住民や商業関係者との連携強化による市内での回遊性向上やリピーター化など、経済効果を高めるためのしかけづくりを推進。



【例え】来訪者の市内一円への回遊性を高め、より一層まちの魅力を知ってもらい、買い物・飲食・宿泊などの消費を拡大していくため、各資源の魅力向上や、様々なツールを使った案内や携帯端末への情報提供の強化、回遊性のある交通手段を充実。



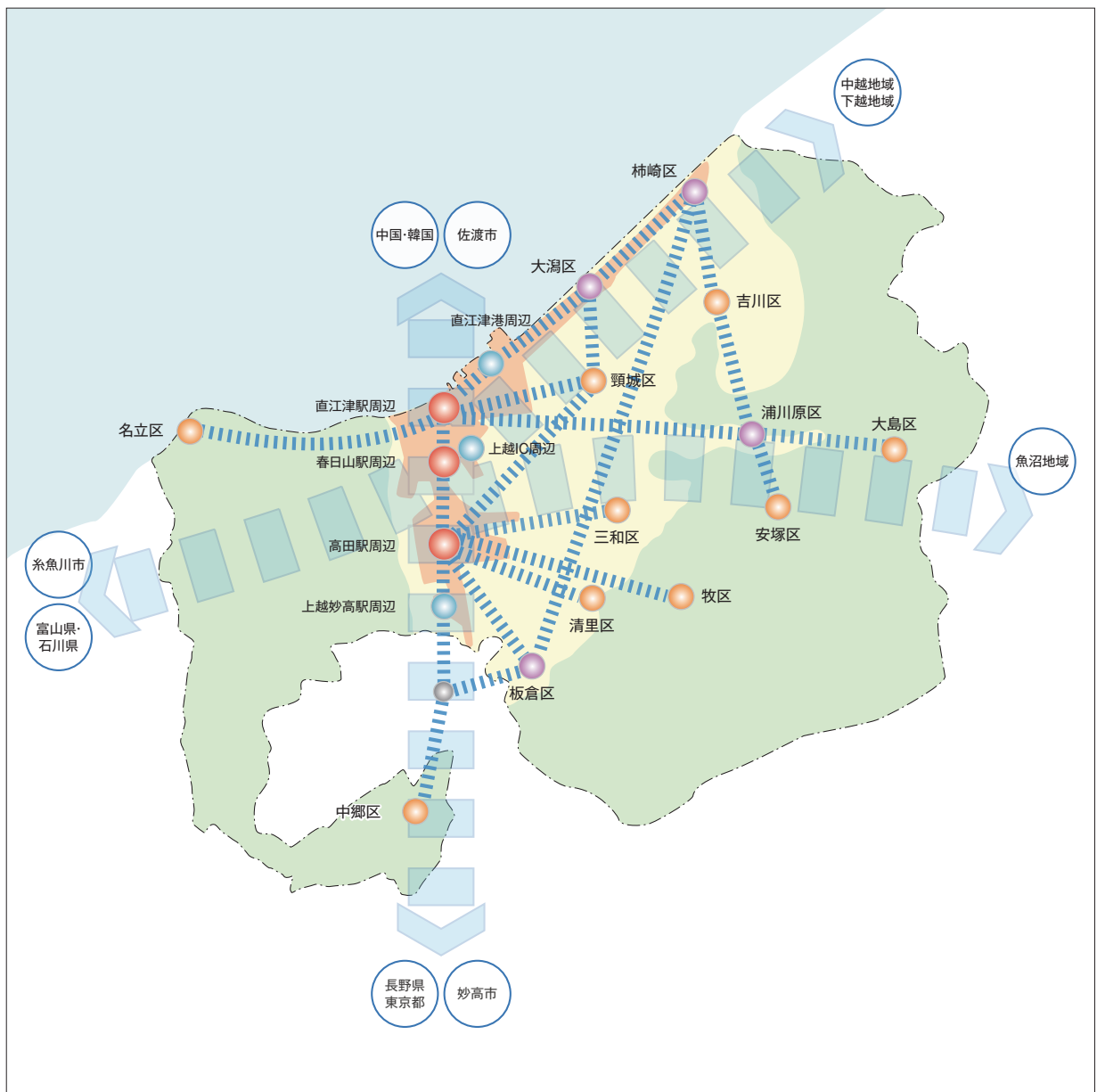
【例え】スポーツコンベンションによる経済効果と市民との交流による多様な効果を生み出すため、市の各関係部署、市民活動団体、関係機関、商業関係者などの連携を強化し、より多くの大会や合宿などを誘致・開催するとともに、アスリートと市民との交流を通じたスポーツ活動の活性化を促進する仕組みづくりを推進。



## 第5章 土地利用構想

- 土地利用構想は、今後の人口減少の進行や財源不足が懸念される財政状況下において、市民の皆さんのすこやかな暮らしを守り、次の世代にこのまちを引き継いでいくための土地利用の方向性や、暮らしを支える都市機能と交通ネットワークの整備の考え方について、「面・点・線」の三要素から示したものです。
- 「面」とは、市域を地勢的特徴に応じて区分した三つの「エリア」の考え方、「点」とは、施設や店舗などの都市機能が集まる中心市街地や各区総合事務所の周辺などの場所を「拠点」と位置付ける考え方、「線」とは、道路や鉄道、バスなどの「交通ネットワーク」の考え方のことです。

面・点・線によるまちの構造のイメージ






※エリアはおおむねの範囲を、拠点はおおむねの位置を示したものです。  
 ※交通ネットワークは、人や物の移動をイメージで示したものです。生活拠点の間を結ぶ拠点間ネットワークと地区内ネットワークは図示していません。







## 面 めりはりのある土地利用

多様な都市機能や優良な農地、豊かな自然を有するエリアそれぞれの特性をいかし、育むめりはりのある土地利用を推進します。

エリア	機能	対象地域	土地利用の考え方
市街地 	暮らしを支える多様な都市機能を有する地域	既に市街化が進んだ地域または市街化が想定される地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の人口減少や社会経済情勢の変化などを踏まえ、市街地の適正な規模を維持します。</li> <li>社会経済情勢を踏まえた住宅・商業・工業の土地利用の変化や、住民・事業者のニーズを見極めながら柔軟な土地利用を進めるとともに、市街地内で十分に活用されていない土地の解消に努めます。</li> </ul>
田園地域 	農業生産機能と生活機能を有する地域	市街地に隣接する平坦で農地と集落が分布する地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>優良な農地や自然環境、農村部の景観を保全します。</li> <li>集落地は、農村らしいゆとりある住環境を形成します。</li> <li>優良な農地は、地域の実情に応じて大規模ほ場などの生産基盤の整備を進めるとともに、農地の集積を進め、農業の生産性を高める土地利用を推進します。</li> </ul>
中山間地域 	水源かん養や保水・浄水、生態系保全などの様々な公益的機能と生活機能を有する地域	平地の外縁部から山周りに至るまとまった平坦な耕地の少ない地域など	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然環境や景観を保全するとともに、水源かん養などの公益的機能を維持するため、森林の適切な管理と農地の保全を推進するとともに、人や地域の支え合いなどにより中山間地域の暮らしを支援します。</li> <li>集落地は、自然環境と調和した里山らしい住環境を形成します。</li> </ul>



## 点 暮らしを支える拠点の構築

各地区の拠点の機能に応じ、暮らしを支える機能を維持・集積します。

拠点	機能	対象場所	拠点の機能整備の考え方
都市拠点 	市の中心地として多様な都市機能が集積し、市内外からの交通アクセスを有する。	高田駅周辺、直江津駅周辺、春日山駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市的ライフスタイルを可能とする居住環境と当市の経済発展の原動力となる都市機能の集積を図るとともに、市内外からの交通アクセス性を高め、多様な人々や団体が集まり、交流や連携が生まれるにぎわいのある拠点を目指します。</li> </ul>
地域拠点 	日常生活に必要な機能に加え、周辺の生活拠点を支える機能が集積し、地区内外からの交通アクセスを有する。	浦川原区、柿崎区、大湊区、板倉区の各中心的エリア（総合事務所周辺）	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に必要な機能に加え、周辺の生活拠点を支える機能の維持・集積を図るとともに、地区内の集落や地区外からの交通アクセスを確保し、人々や団体が集まり、交流や連携が生まれる拠点を目指します。</li> </ul>
生活拠点 	日常生活に必要な機能が集積し、地区内外からの交通アクセスを有する。	安塚区、大島区、牧区、頸城区、吉川区、中郷区、清里区、三和区、名立区の各中心的エリア（総合事務所周辺）	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に必要な機能の維持・集積を図るとともに、地区内の集落や地区外からの交通アクセスを確保し、人々や団体が集まり、交流や連携が生まれる拠点を目指します。</li> </ul>
ゲートウェイ 	広域交通が結節し、広域的な人や物の移動の玄関口としての特性をいかした機能を有する。	上越妙高駅周辺、直江津港周辺、上越インターチェンジ周辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域交通が結節し、市内から市外へ、市外から市内への広域的な人や物の移動の玄関口としての特性をいかした機能の集積を促進します。</li> </ul>

## 線 人や物の移動を支える交通ネットワークの構築

拠点と市外、拠点と拠点、拠点と地区内の集落のそれぞれの間の移動が便利で安全な交通ネットワークを構築します。

交通ネットワーク	機能	対象	整備の考え方
広域ネットワーク 	広域的な移動と交流・連携を支える交通ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域的な移動を支える主要国道、高速道路など</li> <li>国内外の広域的な移動を支える鉄道、航路など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高速道路、地域高規格道路、国道などの整備促進と、鉄道、航路などの公共交通の安定的な運行の確保と利便性の向上を図ります。</li> </ul>
拠点間ネットワーク 	各拠点間の移動と交流・連携を支える交通ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点間を結ぶ幹線道路</li> <li>拠点間を結ぶ鉄道、バスなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拠点間を円滑に移動できる国道、県道などを確保します。</li> <li>拠点間を移動する鉄道、バスなどの公共交通の安定的な運行の確保と利便性の向上を図ります。</li> </ul>
地区内ネットワーク	拠点と地区内の集落の間の移動と交流・連携を支える交通ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活を支える生活道路</li> <li>拠点と地区内の集落を結ぶバスなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な生活道路とバスなどの公共交通の確保を図ります。</li> </ul>

